

90

午 前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成16年2月23日 10時30分～11時50分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は75問で解答時間は正味1時間20分である。

2. 試験問題の持帰りを認めない。

3. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から4までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例)〔問題 101〕 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ のうち③をマークして

101 ① ②  ④ とすればよい。

(2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……  (濃くマークすること。)

悪い解答の例……   (解答したことにならない。)

(3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

(4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。

(5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 ウィンスローの公衆衛生の定義に書かれていないのはどれか。

1. 個人衛生
2. 地域社会の努力
3. 経済効率
4. 環境衛生

〔問題 2〕 公衆衛生看護で誤っているのはどれか。

1. 地域全体の健康の保持増進を図る。
2. 疾病のハイリスクグループを発見する。
3. 問題を組織的に解決する。
4. 三次予防を優先する。

《

〔問題 3〕 集団とその特徴との組合せで正しいのはどれか。

1. 家族集団 ———— 対人関係の基盤
2. 準拠集団 ———— 反社会的な役割
3. 学習集団 ———— 自己同一性の拠り所
4. 仲間集団 ———— 二者関係の確立

〔問題 4〕 地域診断に用いる手法とその説明との組合せで正しいのはどれか。

1. コミュニティ・アズ・パートナーモデル
————— 集団を1つの生物体とみなす。
2. プロジェクト・サイクル・マネジメント
————— 参与観察が必須である。
3. エスノグラフィ ———— 社会診断から開始する。
4. プリシード・プロシードモデル(MIDORI モデル)
————— 関係者の考えや意見で構築する。

《

〔問題 5〕 国際協力機構(旧国際協力事業団)〔JICA〕の事業に含まれるのはどれか。

1. 国際協力を目的とした日本国内の NPO の支援
2. 青年海外協力隊による人材派遣
3. 戦争が発生したときの傷病者の保護
4. 高度先進医療の提供

〔問題 6〕 平成 12 年(2000 年)の我が国の自殺死亡率について正しいのはどれか。

1. 戦後で最も高かった。
2. 米国(1997 年)と比較して低かった。
3. 男では 55～59 歳が最も高かった。
4. 動機は経済・生活問題が最も多かった。

〔問題 7〕 ウエルネス行動で正しいのはどれか。

1. 自分自身の可能性を実現しようとする行動
2. 病気を早期に発見しようとする行動
3. 障害のない健康状態に近づけようとする行動
4. 病気の不安に対処する行動

〔問題 8〕 健康増進法に盛り込まれている喫煙対策はどれか。

1. 未成年者に対する喫煙防止
2. 喫煙者のマナーの向上
3. 受動喫煙を排除・減少させるための環境づくり
4. 禁煙希望者に対する禁煙サポート

〔問題 9〕 メンバーが集団に対して献身的に努力する度合いである「凝集力」を弱くするのはどれか。

1. その集団に所属することによる利益が明確である。
2. 自己の職務が有効に達成できる。
3. 組織に対して貢献できることが明瞭である。
4. リーダーが支配的である。

〔問題 10〕 セルフヘルプグループの支援にあたり、保健師の基本的姿勢で適切なのはどれか。

1. 地域の保健課題と関連させる。
2. 活動目標について積極的に助言する。
3. 自立が原則であることを助言する。
4. 専門家の知識を重視する。

〔問題 11〕 生活習慣の改善に対して「頭でわかっているのに行動が伴わない」と話す対象者への対応で、適切でないのはどれか。

1. 話の背景にある対象者の感情を捉えながら話を聞く。
2. 対象者の言いたいことや求めているものを時々要約して確認する。
3. 行動が伴わない背後に隠されている対象者の心理に気付かせる。
4. 行動変容を順調に行っている事例を話して励ます。

〔問題 12〕 家族のライフサイクル段階別の役割配分・遂行で正しいのはどれか。

1. 養育期 ——— 夫婦間の生活習慣の調整
2. 教育期 ——— 子どもによる役割の補充
3. 排出期 ——— 子ども独立後の夫婦関係の再調整
4. 孤老期 ——— 家族の生活時間の調整

〔問題 13〕 A町では育児支援を目的に、生後2か月の第一子への家庭訪問事業を実施することにした。

重視するのはどれか。

1. 育児知識を教える。
2. 親の育児不安を聞く。
3. 予防接種時期を知らせる。
4. 子どもの発育や発達について指導する。

〔問題 14〕 家庭訪問の記録で、今後の方針を導くために優先度が高いのはどれか。

1. 観察点の簡潔な記入
2. 小見出しの記載
3. 情報源の明確化
4. 保健師の判断の記入

〔問題 15〕 自己効力を高めることが、効果に影響しにくいのはどれか。

1. 花粉症予防教室
2. 食品衛生講習会
3. 生活習慣病予防教室
4. 乳癌自己検診講習会

〔問題 16〕 保健師は、担当している地区の健康相談で腰や膝の痛みを訴える人が多いことに気付いた。

今後の地区活動の展開を考えるうえで優先度が高いのはどれか。

1. 痛みを訴える人の実態を把握する。
2. 痛みについてのパンフレットを作成する。
3. 腰痛予防教室を企画する。
4. 地域の診療所の医師に連絡する。

〔問題 17〕 妊娠の届出から把握できるのはどれか。

1. 若年妊娠
2. 国 籍
3. 初産婦
4. 未 婚

〔問題 18〕 1歳6か月児健康診査で母親から「この子は、生まれたときから手のかかる子だった。食べるのも歩くのも他の子どもより遅く、私にべったり。夜泣きも続いているし、もう限界。父親は仕事が忙しく深夜に帰宅する。引っ越してきたばかりで、知り合いはいない」という訴えがあった。1か月後に保健師が訪問したときにも同様の訴えがあった。

この母親に対して、家庭訪問を継続しながら行う保健師の支援で優先度が高いのはどれか。

1. 民生委員に訪問を依頼する。
2. 父親に面接し、育児協力を求める。
3. 保育所への入所を勧める。
4. 子育て支援センターの親子教室を紹介する。

〔問題 19〕 55歳の女性。血液生化学検査の結果、総コレステロール 245 mg/dl、
中性脂肪 220 mg/dl、HDL コレステロール 35 mg/dl であった。

保健指導で適切でないのはどれか。

1. 果物の摂取量を減らす。
2. 卵を積極的に摂取する。
3. 飲酒は1合/日までとする。
4. 有酸素運動を20分/日以上行う。

〔問題 20〕 成人の生活の出来事でストレスが最も高いのはどれか。

1. 配偶者の死
2. 退職
3. 隣人の引越し
4. 収入の変化

〔問題 21〕 後期高齢者を対象とした転倒予防運動教室で効果が低いのはどれか。

1. 全身の平衡感覚を高める。
2. 脚と腰の筋力を高める。
3. 骨量を増やして骨の強度を高める。
4. 運動を通して人との交流を図る。

〔問題 22〕 「何かしようとする『お前は役立たずだ。死んでしまえ』という声が聞こえて苦しい」と訴える人への保健師の対応で適切なのはどれか。

- a. どんな時に聞こえるか振り返ってもらう。
- b. できるだけ気にしないように話す。
- c. なぜそのような声が聞こえるか考えてもらう。
- d. 精神科受診の有無を確認する。

- 1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 23〕 20歳の女性。大学3年生。母親が市保健センターに来所した。「娘が最近ひどくやせた。身長156cmで体重は35kgを切っているようだ。大学に入学したとき、体重は48kgはあったと思う。本人は大丈夫だというが、大学に行きたがらない。私を困らせているのだろうか。以前は素直な良い子だったのに。元のように元気な娘にするにはどうしたらよいか」と保健師に訴えた。

娘の状況を理解するために母親から得るべき情報で優先度が低いのはどれか。

- 1. 月経の状況
- 2. 生活のリズム
- 3. 大学の成績
- 4. 家族との関係

〔問題 24〕 35歳の男性。脳性麻痺のため生活のすべてに介助が必要である。66歳の母親と二人暮らし。母の年金と本人の障害年金とで生活している。主な介助者は母であるが、最近腰痛が悪化してきたと保健師に相談があった。

この男性に対して勧めるもので適切なのはどれか。

1. ホームヘルプサービス
2. ショートステイ
3. デイサービス
4. 医療扶助

〔問題 25〕 70歳の女性。パーキンソン病。75歳の夫と二人暮らし。幻覚と妄想とが出現してからは入退院を繰り返している。別居している娘から「母が転倒したりじっとしたまま動かなくなったりすることもあり、父は母から目が離せない状況である」と相談があった。

保健師が訪問したときの最初の対応で適切なのはどれか。

1. 介護に対する夫の気持ちや苦勞を聞く。
2. 移動動作時の介護方法を検討する。
3. ホームヘルパーの導入を提案する。
4. 孤立化を防ぐため患者会への参加を勧める。

〔問題 26〕 潰瘍性大腸炎とクローン病の栄養教室を開催した。

食事指導で摂取を制限するのはどれか。

- a. 蛋白質
- b. 炭水化物
- c. 脂 質
- d. 食物繊維

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 27〕 平成12年の我が国の新登録結核患者に関する記述で正しいのはどれか。

1. 年間の患者数は約4万人である。
2. 5年前と比べ患者数は増加している。
3. 最も多い年齢層は50歳代である。
4. 約7割が喀痰塗抹菌陽性である。

〔問題 28〕 24歳の女性から「近々結婚の予定があり、必要な予防接種をしたい」と相談があった。

抗体価の測定と予防接種とを勧奨するのはどれか。

1. ジフテリア
2. 風 疹
3. 日本脳炎
4. 破傷風

〔問題 29〕 管内の老人保健施設から「入所者から MRSA が検出されたがどう対応したらよいか」と相談があった。

この時点での施設に対する保健所の対応で適切なのはどれか。

1. 保菌者の氏名と年齢とを報告するよう求める。
2. 保菌者を速やかに個室に移すよう話す。
3. 保菌者を病院へ入院させるよう話す。
4. 保菌者を含めた入所者全員の健康状態を確認する。

〔問題 30〕 乳幼児のう歯の特徴で誤っているのはどれか。

1. 乳歯のう歯は、進行が速い。
2. 乳歯のう歯は、奥歯の咬合面に発生しやすい。
3. 前歯の隙間は、う歯の原因になりやすい。
4. 6歳臼歯は、う歯になりやすい。

〔問題 31〕 地域診断のプロセスに含まれないのはどれか。

1. 予算の執行
2. 障害者計画の立案
3. 保健事業評価
4. 住民グループとの会合

〔問題 32〕 B町の保健師は町内の在宅の精神障害者数を把握しようと考えた。

有効な方法はどれか。

1. B町内の医療機関からの情報収集
2. 精神障害者保健福祉手帳の所持状況の把握
3. 精神障害者通院医療費公費負担制度の利用者数の把握
4. 国民健康保険医療給付実態調査の活用

〔問題 33〕 次年度の計画として糖尿病予防教室を実施したいと考えた。

企画を説明する根拠で優先度の低いのはどれか。

1. 管内の開業医数
2. 人工透析にかかる費用
3. 糖尿病通院患者数
4. 基本健康診査の結果

〔問題 34〕 地域保健活動の結果評価に用いるのはどれか。

1. 地域の人口
2. 保健事業への参加者数
3. 地理的条件
4. 数値目標の達成率

〔問題 35〕 市町村保健センターの保健師が事業の施策化を進める方法で誤っているのはどれか。

1. 県の既存事業を活用する。
2. 関係者に事業の意義を理解してもらう。
3. 一地区の活動成果を他地区へ波及させる。
4. 計画は単年度で完結させる。

〔問題 36〕 市町村の保健事業に関する計画を作成するときの留意点で最も重要なのはどれか。

1. 目的は事業を行う直前に明確にする。
2. 経費の概要を示す。
3. 詳しい備品購入計画を作成する。
4. 他の市町村の実施状況を資料化する。

〔問題 37〕 85歳の男性。脳卒中後遺症で要介護度4。85歳の妻と二人暮らし。妻が介護し、日曜日のみ隣町に住む娘が手伝いに来ている。持ち家に住んでおり、世帯収入は約15万円である。月曜日から土曜日の午後1時から2時半までホームヘルプサービスを利用している。主治医の往診の頻度は月1回である。妻から「介護に疲れた。でも夫は家に居させたい」という訴えがあり、支援を再検討することになった。

優先度が低いのはどれか。

1. ホームヘルプサービスを巡回型に変える。
2. 入浴サービスを週1回導入する。
3. 医師の往診の回数を増やす。
4. デイサービスを週2回導入する。

〔問題 38〕 保健所から定期的に訪問指導を受けていた22歳の精神障害者Cが刑事事件を起こし、拘留されている。保健所に新聞社から電話があり「Cの事件前の状況を教えてほしい。このことについてCの両親に取材し、了解は取れている」とのことであった。

この電話に対する応答で適切なのはどれか。

1. Cに関する情報を電話で伝える。
2. Cに関する情報を提供するので、保健所まで来るように伝える。
3. Cの了解を得るように伝える。
4. 「Cの両親に事実関係を確認する」と伝える。

〔問題 39〕 コミュニティ・エンパワメントで誤っているのはどれか。

1. 住民が QOL に影響する施策に積極的に参加する。
2. 地域の問題が住民の共通の問題として認識される。
3. 住民と専門職との協働関係によって達成される。
4. 政策反映する政治活動とは厳格に区別される。

〔問題 40〕 地域の自主グループで適切なのはどれか。

1. グループの規則が優先される。
2. メンバーは自由に発言できる。
3. 発言を解説する役割のメンバーがいる。
4. 保健師が代表者を指名する。

〔問題 41〕 集合住宅が立ち並ぶ地区。老年人口割合 27 %。「自宅に閉じこもっているお年寄りが多い。地区内の集会所で月に 1 回くらい気軽に交流できる集いを開催したい」と自治会長から保健師に相談があった。

保健師の助言として適切なのはどれか。

1. 「地区の民生委員さんに集いの運営を頼みましょう。」
2. 「参加対象者は保健師がリストアップします。」
3. 「お年寄りの問題で感じていることを自治会で話し合ってみましょう。」
4. 「参加者は 20 人前後にしましょう。」

〔問題 42〕 60歳の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の妻を介護している65歳の夫。最近夫が体調を崩し、夫婦ともに緊急入院した。この事例を通じて保健師は在宅難病患者の地域ケアシステムを構築する必要性を感じた。

まず取り組むのはどれか。

1. 患者・家族会を結成する。
2. 地域で提供可能なサービスを調査し活用する。
3. 介護支援専門員を対象とした技術研修会を開催する。
4. 保健・医療・福祉の関係者を対象とするシンポジウムを企画する。

〔問題 43〕 学校保健で正しいのはどれか。

1. 学校保健安全計画の決定は養護教諭が行う。
2. 定期健康診断は毎年4月末日までに行う。
3. 学校給食は学校教育法に基づいている。
4. 保健教育は保健学習と保健指導とからなる。

〔問題 44〕 中学校2年生のD君。1年生のときから欠席が多く、2年の新学期1週目に保健室に来室した。D君は「久しぶりに登校したら自分の居場所がないように感じた。1年から続いて担任になった先生も苦手なタイプだった。教室には行きたくない」と養護教諭に話した。

この時点の本人に対する援助として適切なのはどれか。

1. 教室での勉強の楽しさを話す。
2. 保健室に来る他の生徒に自分から話しかけるよう促す。
3. 保健室にはいつでも来て良いと話す。
4. 担任とよく相談するように促す。

〔問題 45〕 騒音の激しい職場での管理で誤っているのはどれか。

1. 定期的に騒音測定を行う。
2. 作業者に耳栓を着用させる。
3. 作業者の聴力測定を行う。
4. 作業者に健康管理手帳を交付する。

〔問題 46〕 大手企業の健康管理室に「単身赴任が長く、いつまで続くかわからず、精神的にまいっている」とEさんから相談があった。

産業保健師として適切な対応はどれか。

1. Eさんの上司にEさんが相談に来たことを伝える。
2. 安全衛生委員会でEさんの実情を具体的に訴える。
3. 単身赴任者すべてに赴任期間の目途を示す必要があると会社に提言する。
4. Eさんに労働基準監督署に相談するよう勧める。

〔問題 47〕 在宅ケアで正しいのはどれか。

1. 医療保険の対象外である。
2. 一次予防の関わりは含まれない。
3. 医療機関退院後に始まる。
4. 地理的なアクセシビリティ（近接性）は重要である。

〔問題 48〕 軽度の痴呆症状のある一人暮らし高齢者の在宅生活を支援したいと考えた。

保健師が連携する人で優先度が低いのはどれか。

1. 介護老人福祉施設の指導員
2. 市町村高齢者福祉担当ケースワーカー
3. 民生委員
4. 介護支援専門員

〔問題 49〕 災害予防対策期の活動で正しいのはどれか。

1. 災害弱者の把握
2. 災害被害地図の作製
3. 避難所でのプライバシーの保護
4. PTSD への対応

〔問題 50〕 28 歳の女性。3 か月前に震災に遭った。最近、そのときの恐ろしかった記憶がよみがえり、家事ができなくなった。夜もあまり眠れない状況が続いている。

保健師の対応として適切なのはどれか。

1. 怖い体験を語るとよけい苦しくなると説明する。
2. 精神科の受診を勧める。
3. 家事はしないほうが良いと勧める。
4. 激しい運動を勧める。

〔問題 51〕 個人情報保護について、経済協力開発機構(OECD)理事会勧告の8原則(1980)に含まれないのはどれか。

1. 個人参加の原則
2. 非公開の原則
3. 収集制限の原則
4. 目的明確化の原則

〔問題 52〕 医療費の公費負担が予算的措置で行われているのはどれか。

1. 劇症肝炎
2. 統合失調症(精神分裂病)
3. 肺結核
4. 細菌性赤痢

〔問題 53〕 二国間協力はどれか。

1. 国連児童基金(UNICEF)
2. 世界保健機関(WHO)
3. 国連合同エイズ計画(UNAIDS)
4. 政府開発援助(ODA)

〔問題 54〕 健康増進対策で正しいのはどれか。

1. 第1次国民健康づくり対策では、健康運動指導士の養成が推進された。
2. 第2次国民健康づくり対策では、市町村保健センターの設置が推進された。
3. 健康日本21では、計画に数値目標が導入された。
4. 健康増進法では、生活習慣病という概念が導入された。

〔問題 55〕 平成 14 年 7 月の健康保険法の改正で導入されたのはどれか。

1. 被保険者本人の医療費 3 割負担
2. 老人医療費の定額負担
3. 入院時食事療養費の標準負担
4. 外来薬剤費用の一部負担

〔問題 56〕 地域保健法による保健所の事業でないのはどれか。

1. 地域住民の健康の増進に関する事項
2. 老人の保健に関する事項
3. 生活保護に関する事項
4. 公共医療事業の向上に関する事項

〔問題 57〕 地域福祉権利擁護事業で正しいのはどれか。

1. 母子家庭を対象にしている。
2. 利用時は民生委員の意見書を必要とする。
3. 市町村の国民年金担当係が窓口である。
4. 利用者と実施者とが契約を結ぶ。

〔問題 58〕 都道府県が医療計画を作成するときに意見を求めなくてもよいのはどれか。

1. 国の社会保障審議会
2. 都道府県医療審議会
3. 市町村
4. 診療に関する学識経験者の団体

〔問題 59〕 疫学について誤っているのはどれか。

1. 人間集団を対象としている。
2. 作用因子と健康状態との関係を明らかにする。
3. 個人の疾病の原因究明が主な目的である。
4. 経験論的法則を導き出す。

〔問題 60〕 100 人の会食で 40 人が食中毒を発症し、そのうち 4 人が死亡した。

正しい組合せはどれか。

1. 罹患率 ——— 40%
2. 有病率 ——— 40%
3. 死亡率 ——— 10%
4. 致命率 ——— 10%

〔問題 61〕 症例対照研究の結果を次の表に示す。

	曝露あり	曝露なし	合 計
症 例	20	80	100
対 照	10	90	100
合 計	30	170	200

相対危険はどれか。

1. 1.3
2. 1.4
3. 2.0
4. 2.3

〔問題 62〕 交絡因子の制御方法と特徴との組合せで正しいのはどれか。

1. 無作為化 ——— 観察研究で用いる。
2. マッチング ——— 交絡因子の分布が等しくなるよう対象者を調整する。
3. 制限 ——— 交絡因子が完全に制御できる。
4. 層化 ——— 結果の解釈が比較的困難である。

〔問題 63〕 スクリーニングの結果を次の表に示す。

	疾患あり	疾患なし
検査陽性	a	c
検査陰性	b	d

$\frac{a}{a+b} \times 100(\%)$ はどれか。

1. 敏感度
2. 特異度
3. 陽性反応的中度
4. 陰性反応的中度

〔問題 64〕 結核の集団感染におけるスクリーニング検査としてツベルクリン反応検査が用いられる理由で誤っているのはどれか。

1. 敏感度が高い。
2. 特異度が高い。
3. 陽性反応的中度が高い。
4. 結核が発症する前に発見できる。

〔問題 65〕 我が国のC型肝炎で正しいのはどれか。

1. 母子感染が多い。
2. 20～29歳でキャリアの割合が高い。
3. キャリアの割合に地域差はほとんどない。
4. キャリアは100万～200万人と推定されている。

〔問題 66〕 検疫感染症はどれか。

1. 急性灰白髄炎
2. コレラ
3. 細菌性赤痢
4. 腸チフス

〔問題 67〕 脳血管疾患で正しいのはどれか。

1. 年齢階級別受療率は40歳代後半から上昇している。
2. 寝たきりの原因の第1位である。
3. 脳梗塞よりも脳出血による死亡率が高い。
4. 傷病分類別にみた入院受療率で第1位である。

〔問題 68〕 喫煙対策によって減少が期待できるのはどれか。

1. 食道癌
2. 潰瘍性大腸炎
3. 躁うつ病
4. パーキンソン病

〔問題 69〕 正規分布で正しいのはどれか。

1. 中央値と最頻値は異なる。
2. 平均値±標準偏差の範囲に対象の95%が含まれる。
3. ヒトの身長は正規分布に従う。
4. 二峰性である。

〔問題 70〕 平成13年(2001年)の我が国の男の平均寿命は78.07年であった。

正しいのはどれか。

1. 2001年生まれの男は2079年には50%生存していることが期待できる。
2. 2001年に死亡した男の死亡時年齢の平均は78.07歳であった。
3. 2001年の男の死亡状況が続けば0歳男児は平均78.07年生きる。
4. 2001年に生存していた男の年齢の平均は78.07歳であった。

〔問題 71〕 図は我が国の母の年齢階級別出生率の年次推移を示したものである。

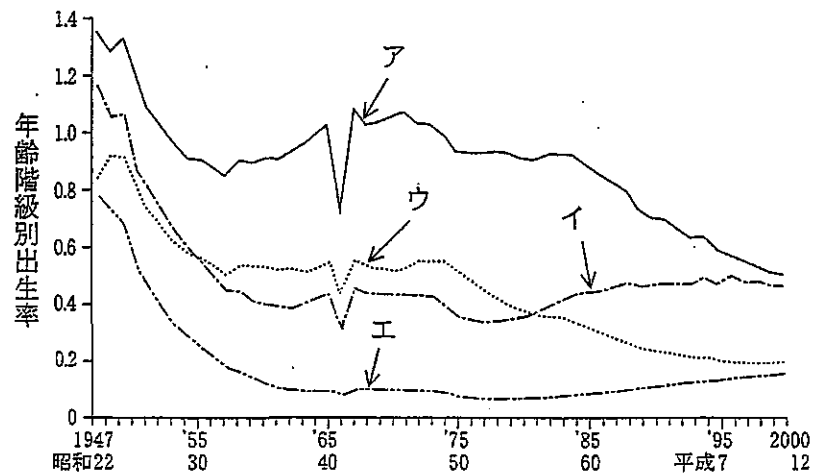


図 母の年齢階級別出生率の年次推移

厚生労働省「人口動態統計」

20～24 歳はどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ

〔問題 72〕 国勢調査で正しいのはどれか。

1. 集計事務は保健所が所管する。
2. 調査項目には栄養摂取量が含まれる。
3. 10 年に 1 度行われている。
4. 悉皆調査である。

〔問題 73〕 罹患数が示されるのはどれか。

1. 国民生活基礎調査
2. 患者調査
3. 学校保健統計
4. 食中毒統計

〔問題 74〕 基本健康診査のデータを保健センターのコンピュータに入力した。

個人情報の管理で適切なのはどれか。

1. データのバックアップを多数準備する。
2. 当該コンピュータをオンライン接続する。
3. ファイルをパスワード管理する。
4. 国民健康保険のデータとリンクさせる。

〔問題 75〕 地域がん登録で観察する疫学指標はどれか。

- a. 罹患率
- b. 有病率
- c. 死亡率
- d. 5年生存率

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

◎ 下記の欄に受験番号および氏名を記入すること。

受 験 番 号	氏 名(楷書で書くこと)